

平成30年度 ウィリング横浜 事業実績評価結果

事業	項目	評価
1 施設の管理運営・貸出業務	(1) 施設の目的に沿った管理運営	<p>施設の目的に沿った管理運営が適切に行われた。建物や設備の保守管理も丁寧に実施され、大きな支障なく施設の運営ができています。施設の老朽化により課題となっている修繕等については、長期的な計画を策定し、実行に着手しました。</p> <p>利用者からの意見や苦情を把握するための複数の手段を運用し、意見等への対応と職員による情報共有が図られている。</p> <p>施設の利用率の向上に向け、様々な広報や利用状況の分析に取り組んでいる。取組みの効果分析や利用状況分析に基づく改善策の検討と実行が今後の課題となっている。</p> <p>施設運営に必要な職員は適切に配置されている。人材育成については、指定管理者である社会福祉法人共通の研修計画に基づいているが、施設独自の取組みも行われている。</p>
	(2) 建物・設備等の管理	
	(3) 利用者ニーズの把握、苦情対応	
	(4) 職員体制・育成	
2 人材育成事業 (福祉、保健に関する研修会等の開催)	(1) 研修会等の開催	<p>福祉・保健に関する研修会は、ニーズを踏まえた研修内容や開催方法等を工夫しながら実施されている。</p> <p>課題とされた保健分野の充実も図っている。また、研修委員会からの意見や、事業所ニーズの分析結果等を研修等に反映するように努めている。</p>
	(2) 研修委員会の開催	
	(3) 福祉保健活動従事者の研修ニーズ把握	
3 よこはま福祉・保健カレッジ	よこはま福祉・保健カレッジの運営	<p>いずれの事業についても、実績や効果を明確に数値化して評価することが難しく、また施設単独で取組み、効果を上げることは困難な事業である。その中で、事業ごとに改善を行い又は新たな企画事業に着手し効果を上げている。</p>
4 情報収集・提供事業	情報資料室の運営	
5 人材確保・定着支援事業	人材確保・定着支援	
6 調査研究事業	調査研究事業	
7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業	(1) こころの相談室の運営	
	(2) その他	
その他考慮すべき取組等		